

令和3年3月吉日

東京大学 大学院工学系研究科 社会連携講座  
「水循環データ統融合の展開学」の活動成果の御報告と御礼

平素より社会連携講座「水循環データ統融合の展開学」の運営にあたりまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。過日開催いたしました最終報告会におきましては、ご多忙の中、多くの皆様にご出席を賜り誠にありがとうございました。当日の参加者は268名におよび、活発な意見交換のもと、各位のお陰をもちまして大変有意義な成果報告会となりましたことを感謝申し上げます。

また、本講座の設置及び3年半にわたる講座の運営に際して多大なるご支援を賜りましたことを改めて厚く御礼申し上げます。お陰様で、本講座では地球環境情報プラットフォーム DIAS を活用して社会問題の解決に資する研究と教育に取り組み、多くの成果を生み出すことができました。

研究面では、近年世界各地で多発する大規模水災害のリスク評価手法の開発や、大規模アンサブル気候データの治水計画への活用に向けた研究、そして、途上国の洪水常習地帯における水災害と貧困の関係性についての研究など多くの研究成果を生み出すことができ、一連の研究成果は英文 41編を含む 91 編の審査付き学術論文として出版されました。また、4 つの学会賞と 2 つの国際会議での賞を受賞するなど学会でも評価していただきました。さらに、利用可能な観測データが限られた途上国向けに洪水氾濫予測システムを開発してミャンマー政府に導入するなど、社会実装においても着実な成果を挙げました。

教育面では、博士 6 名、修士 22 名、学部 16 名の研究指導を行うとともに、延べ約 1,000 人の学生に対する大学院と学部での講義を行いました。その一環として、本講座参画企業の皆様によるご提案課題を素材とした「水循環データ統融合」に関する実践的大学院講義を開発し、演習においては企業の皆様にも共同で学生をご指導いただくなど、産学連携の新しい取り組みを始めることもできました。

本講座の活動を通して多くの社会貢献を実現できたのも、皆様からの温かいご支援とご尽力のお陰と考えております。本講座は今月末をもって終了しますが、ここで生み出された成果をさらに発展すべく、今後の活動に活かしてまいりたいと存じます。引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

東京大学 大学院工学系研究科 社会基盤学専攻  
教授 池内幸司  
特任教授 川崎昭如  
特任講師 渡部哲史